



学校や社協に雑巾を寄贈

平田村老人クラブ連合会(吉田勇二会長)が10月1日、役場を訪れ、手作り雑巾を寄贈しました。

この雑巾は、村内の老人クラブ会員に呼び掛けて集めたもので、役場やこども園、各小中学校や村社会福祉協議会などに配られ、施設の消毒や清掃等に役立てられます。



感謝状を受け取った澤村兼人さん

地域の安心を守る防犯指導隊に荣誉

令和7年全国地域安全運動福島県民大会が10月15日、郡山市立中央公民館で開催され、式には平田村防犯指導隊の澤村兼人さん(蓬田新田)が代表で出席しました。

平田村防犯指導隊は、長年の地域安全活動の推進や警察活動の協力への功績が認められ、県表彰防犯功劳団体を受賞しました。



小平郵便局 新店舗が開局

小平郵便局新店舗開局に伴う開局式が10月14日に開催されました。

式では、日本郵便株式会社執行役員 斎藤貴東北支社長が式辞を述べ、澤村村長が祝辞を述べました。

式に合わせ、入口前でテープカットと記念撮影が行われ、新しい店舗の開局に華を添えました。

なお、昭和35年から長きにわたり地域の皆様に親しまれてきた旧小平郵便局店舗は、今後解体を予定しております。



宝くじの助成金により「消防団救命胴衣」を整備しました

一般財団法人自治総合センターが宝くじの助成金で実施する、令和7年度コミュニティ助成事業を活用して、消防団救命胴衣100着を整備しました。消防団はいつ・どんな災害が発生しても対応できるよう様々な訓練を実施しています。今回整備した救命胴衣は、河川付近や水辺での防火活動・各種訓練等で活用していきます。



宝くじマーク-クちゃん



建設業協力会 奉仕作業

村内の建設事業者8社で組織する平田建設業協力会が10月10日、道路環境保全の奉仕作業を行いました。

この奉仕作業は、東日本大震災後の平成23年に、村道の被災状況確認と保全を目的に実施され、その後地元住民への感謝と、安全で快適な道路機能維持向上を目的に毎年取り組まれているものです。

役場で行われた出発式では、笠巻正夫会長((有)笠巻開発工業)が「怪我や事故の無いように作業を行ってほしい。」と挨拶を述べ、各社が村道沿いの草刈りを実施しました。



子どもたちの健康を地域で考える

平田村地域学校保健委員会が10月15日、小平小学校で開催されました。

この委員会は、子どもたちの健康問題や健康づくりに関して協議し、健康の保持増進を図ることを目的に毎年開催されています。

今年度は「メディアが及ぼす脳の発達への影響について」をテーマに、福島市のいちかわクリニック小児科の医師・市川陽子先生を講師に招き、メディアが子どもに与える影響と望ましい生活習慣について講演頂きました。

講演後に行われた関係者による協議では、それぞれの立場で取り組めることや改善策について熱い意見が飛び交いました。



ひらた清風中学校通学路における防犯パトロールを実施

平田村防犯指導隊による防犯パトロールが10月28日、ひらた清風中学校通学路で実施されました。このパトロールは中学校周辺の夜間における危険箇所の確認と帰宅時における生徒達への注意喚起を実施することで犯罪や事故を未然に防止することを目的としています。

平田村防犯指導隊の澤村兼人さん、遠藤勝さん、平田駐在署の皆さんがひらた清風中学校通学路を歩き、危険箇所を確認しながら生徒達へ事故防止などを呼びかけました。



突然の病気やケガに備え、普通救命講習を受講

女性消防クラブの役員・支部長を対象とした普通救命講習会が10月19日、ハレスコで行われ、小女性消防クラブ役員等18名が参加しました。

講習会では、石川消防署平田分署の山田副分署長と2名の職員の方が講師をつとめ、心臓マッサージとAEDの使い方を参加者全員が実際に体験し、分かりやすく指導していただきました。

参加した女性消防クラブの役員・支部長は、心肺蘇生法とAEDの使い方についてお互いに確かめ合い、講師に質問をしながら何度も熱心に練習しました。